

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和4年11月16日(2022.11.16)

【公開番号】特開2020-151371(P2020-151371A)

【公開日】令和2年9月24日(2020.9.24)

【年通号数】公開・登録公報2020-039

【出願番号】特願2019-55318(P2019-55318)

【国際特許分類】

A 63 F 7/02 (2006.01)

10

A 63 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 63 F 7/02 326Z

A 63 F 5/04 602A

A 63 F 7/02 304D

【手続補正書】

【提出日】令和4年11月8日(2022.11.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

20

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

振動することにより所定の演出を行う入力装置と、

入力装置と係合する部品1と、前記部品1と係合する少なくとも2以上の他の部品を介して係合する部品2と、

表示窓を有する扉と、

リールテープと、前記リールテープが巻き付けられるリール基部と、前記リール基部を回転させるモータと、前記モータが固定されるモータ固定ベースと、を少なくとも含むリールと、

前記リールが複数個並列に固定されているリールユニットと、

複数の前記リールを前記リールユニットにそれぞれ固定するための複数の係止部品とを備え、

前記部品2は、リールを停止させるための停止装置であり、

前記入力装置が振動して所定の演出を行っている時、前記入力装置での振動の変位より、前記部品2での振動の変位の方が小さくなっている、

複数の前記リールのうち所定のリールと、前記リールユニットと、が前記複数の係止部品のうち所定の係止部品によって前記所定のリールを構成する前記リールテープよりも上方で固定されており、

前記所定の係止部品の長手方向の長さmと、前記所定のリールを構成する前記リールテープの頂部から前記リールユニットの上部内壁までの垂直距離nと、の関係が $m > n$ となつてあり、

前記所定の係止部品の長手方向の長さmと、前記扉が施錠されている状況における前記所定のリールの最前部と前記表示窓との最短距離bと、の関係が $m < b$ となつていることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

50

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

振動することにより所定の演出を行う入力装置と、

入力装置と係合する部品1と、前記部品1と係合する少なくとも2以上の他の部品を介して係合する部品2と、

表示窓を有する扉と、

リールテープと、前記リールテープが巻き付けられるリール基部と、前記リール基部を回転させるモータと、前記モータが固定されるモータ固定ベースと、を少なくとも含むリールと、

前記リールが複数個並列に固定されているリールユニットと、

複数の前記リールを前記リールユニットにそれぞれ固定するための複数の係止部品とを備え、

前記部品2は、リールを停止させるための停止装置であり、

前記入力装置が振動して所定の演出を行っている時、前記入力装置での振動の変位より、前記部品2での振動の変位の方が小さくなっており、

複数の前記リールのうち所定のリールと、前記リールユニットと、が前記複数の係止部品のうち所定の係止部品によって前記所定のリールを構成する前記リールテープよりも上方で固定されており、

前記所定の係止部品の長手方向の長さmと、前記所定のリールを構成する前記リールテープの頂部から前記リールユニットの上部内壁までの垂直距離nと、の関係が $m > n$ となつてあり、

前記所定の係止部品の長手方向の長さmと、前記扉が施錠されている状況における前記所定のリールの最前部と前記表示窓との最短距離bと、の関係が $m < b$ となっていることを特徴とする遊技機。

10

20

30

40

50